

富士市 C N F 関連産業推進構想とアクションプランの位置づけ



富士市が 目指すべき将来像			C N F でつながり ひろがる ものづくりのまち ふじ ～ 持続可能な社会を創るまちへ ～								
方針 1			方針 2			方針 3			方針 4		方針 5
CNFの理解促進 ～CNFを知る～			CNFの活用促進 ～CNFに触れる・作る～			CNF・地域産業の 拠点とネットワーク形成 ～CNFでつながる～			CNFの事業化推進 ～CNFで儲ける～		CNFのまち ブランド育成 ～CNFのまちをプロモーション～
2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030

推進構想の実現に向け、

喫緊に展開すべき、具体的な取組

アクションプラン

第1期	第2期	第3期	第4期
基盤づくり 体制の確立・充実 ①広報・PRによるCNFの 情報発信・普及啓発 ②用途開発を加速する マッチング機会の創出 ③富士市CNFプラッ トフォームの設立・運用 ※①②の実施の場	裾野の拡大とOIによる 用途開発の加速化 ①CNFに関する情報の 共有と活用 ②用途開発を加速する マッチング機会の創出と 強化 ③「オープンイノベーション」 の場の創出と支援	CNF等セルロース材料を基軸とし た産業エコシステム拠点の形成 ①認知度の向上・活用に向 けた裾野の拡大 ②マッチングとOIの場の創出 ③実用化・社会実装事例の 掛け算によるビジネス化の 後押し	今後の状況に応じ策定 (2027年度作業)

第3期アクションプラン（A P）の概要



- 第1期・第2期 A P を踏まえ、第3期 A P の取組を明確化し、施策の更なる展開を図る（2025～2027年度）
- 第3期 A P は、C N F 等セルロース材料に関する「拠点」の形成に向けたアクションを設定

第3期アクションプラン目標

C N F 等セルロース材料を基軸とした産業エコシステム拠点の形成

拠点

様々な企業や人材を生み、育て、つながり、循環する機能
富士市をフィールドにビジネス化・事業化へ取り組む場・機会

アクション 1	アクション 2	アクション 3
C N F の認知度の向上・ 活用に向けた裾野の拡大	マッチングとオープン イノベーションの場の創出	実用化・社会実装事例の 掛け算によるビジネス化の後押し

Action	Point
1 C N F の認知度の向上・ 活用に向けた裾野の拡大	➢ C N F の実用化や社会実装に関する情報発信・提供 ➢ サンプル提供や実習等を通じた「触れる」「作る」機会の拡充と G X 人材の育成 ➢ 起業・創業、スタートアップ創出等につながる新たな活用層の掘り起こし ➢ プラットフォームの情報発信、市民等への普及啓発の拡充・強化
2 マッチングとオープン イノベーションの場の創出	➢ 目的や使う側のニーズを起点にしたマッチング・応用分野別の勉強会 ➢ 異分野・異業種、スタートアップ等との連携の機会 ➢ 共創やオープンイノベーションを促進する場 ➢ 世界とつながるビジネスマッチング国際展示会の開催
3 実用化・社会実装事例の 掛け算によるビジネス化の後押し	➢ C N F の機能や用途に注目した具体的な成果の共有・横展開 ➢ C N F の環境に対する貢献度や環境性能の具体化 ➢ 循環経済やローカルビジネス、スタートアップ型ビジネスの創出 ➢ 成功事例の蓄積によるブランド化とプロモーションの推進